

ひの

広報

2月号
2003年 NO. 589

ひのちよう



発行・日野町役場 〒689 4503 鳥取県日野郡日野町根雨 101 TEL (0859) 72-0332・FAX 72-1484 編集・企画振興課
ホームページ <http://www.town-hino.com/> 電子メール info@town-hino.com 印刷・富士印刷有限会社



保育所の庭に向かって「鬼は外、福は内」と元気に豆をまく園児たち

困った

鬼さんは外

「たくさんの福やつてこい」

町内保育所で豆まき

鬼は外、福は内。園児たちが元気な声で、たくさんの福を呼び込みました。

2月3日、根雨・日野・黒坂保育所で恒例の豆まきがありました。

根雨保育所では、色紙で作った赤や青、黄色などかわいらしい鬼の面を身につけて豆まきをしました。

園児たちは「泣き虫鬼やわがまま鬼を追い出します」と自分の中にいる困った鬼をみんなの前で発表。外に向かって豆をまき、福の神を自分の中に呼び込んでいました。

そして、園児たちは、自分の年齢より一つ多い数の豆を食べながら、無病息災を願いました。

今月の主な内容

| | |
|-------------|------|
| 地域から情報発信 | P 2 |
| 広域で男女共同参画 | P 4 |
| そばでまちおこし | P 8 |
| 全国大会でがんばります | P 10 |
| 冷水浴びせて厄払い | P 11 |

元氣

地域から 情報発信

地域の特性を生かす 里山ものづくり塾



乾いた音とつやがとても良い竹炭

地域の中で

自分に出来ること

菅福地区では「地域の中で自分たちに出来ることから情報発信しよう」と里山ものづくり塾（西村文作代表）を結成し、地域の特性を生かした物作りに励んでいます。

メンバーは、同地区60歳以上の9人で、気の合った仲間たち。現在は炭焼きに挑戦しています。

すべて自分たちの

手で作りあげる



近くの山で材料を調達された窯

炭作りは昨年12月から始め、現在で5回目になります。窯かまや作業小屋も全部自分たちで製作。メンバーの中で、窯を以前に作ったことのある稲田茂さん指導のもと、約1か月



窯の中で灰にまみれながら作業するメンバー

かかって幅1尺60分、高さ1尺50分、奥行き3尺の窯を作り上げました。稲田さんは「約40年ぶりです。昔を思い出します」と話していました。

材料は主に竹を使用

始めはナラの木と竹を材料に作っていましたが、今は竹炭を主に作っています。

最近、地域に山林手入れの担い手が少なくなり、手を入れない竹やぶが増え、里山を荒廃させています。このため、山林整備も兼ねて竹を材料にしています。

竹炭は、小さな孔（穴）が無数に開いていて、有害な物質を吸いとってくれます。さらに、マイナスイオンを多く発生し、ミネラルも豊富に含

んでいます。脱臭力、抗菌力にも優れています。

炭作りは、窯に竹を入れてから6日間焼き続けます。その後、約3日間冷えるのを待って窯を開けます。完成した竹炭は、乾いた音とつや、手に持っても汚れが付きにくいのが特徴です。

情報発信して地域の活性化につなげたい

今のところ月1回、約350キ口の竹炭が作られています。注文もすでに受けており、さらに良いものをと、焼く時間を調整するなど試行錯誤中です。西村さんは「炭と町のすばらしさを情報発信して、地域の活性化につなげていきたい」と話していました。

囲炉裏を囲んで座談会

2月22日、5回目の窯入れの休憩中に、里山ものづくり塾のメンバー4人（左から柴田博さん、水谷勉さん、西村文作さん、稲田茂さん）に「今の地域」についてお話を聞きました。



竹炭で火を起し自分たちで作った囲炉裏で暖をとる里山ものづくり塾のメンバーたち

最近、コミュニケーションが少なくなってきたと言われますが

西村 昔は、どこの家でも囲炉裏を囲み、家族でいろいろな話をしていた。

稲田 そう。今はそれぞれの部屋に暖房器具があるから家族の集まる機会がないね。

水谷 便利になった分、家族や人と人のつながりも薄れてきたような気がする。

柴田 以前は、隣りの家に用事があつたら「まあ上がつてくれ」という感じだったが、今は、用事を済ませたらなぜかすぐに帰ってしまうね。

皆さんの子どもころと今を比べて変わったことはどんなことですか

西村 子どもたちも少なくなってきたね。地域に活気がなくなっている。子どもがいれば家が明るくなり、地域も明るくなると思う。
稲田 遊びも変ってしまい、家の中でゲームする子どもも

ちが増えてきている。
柴田 自分たちのころは、山や川でいつも遊んでいたよ。
稲田 上級生の「がき大将」にいろいろ教えてもらったね。
水谷 学校では教えてもらえない大切なことを教えてもらった。

稲田 川に落とされて無理やり泳げるようになったよ。

西村 最近、がき大将がいらないね、大人の世界も。地域には、人を引きつける魅力を持つリーダーが必要だよ。

柴田 それと近所の人にもかなり怒られたな。

水谷 今では見て見ない振り、以前はすぐに怒られたものだ。
稲田 子どもを怒ると親が出てくるような時代だよ。近所付き合いとか少なくなったからかな。

これからの地域と生きいきと暮らしていくには

西村 だれかが元気を出さないと地区は、どんどん寂しくなってしまうね。若者は地域から離れていってしまう。

柴田 しかし、菅福地区は元気を出しているよ、「元気邑」とかよくやっていると思う。



「窯開けが一番楽しい」と声も弾む

今日も味噌づくりをしている。水谷 何かすることがあれば、毎日がとても楽しいね。

稲田 あれもしたいこれもしたいで、毎日が忙しい。病氣して寝込んでいる場合ではないよ。忙しい方が元気になる。
西村 一人ひとりが趣味や生きがいを持って活動することが一番だね。

柴田 みんなが集まれる場所があるのも大切。ここはいいね。囲炉裏を囲むと話はずむ。1日がとても楽しい。

稲田 楽しいからがんばれる。地域の中での役割を考えて盛り上げていこう。

西村 私たちは、地域の良き伝統を若者に伝えていく重要な役割だと思うね。そのためにも元気を出して地域から情報発信をしていこう。



「力を合わせてがんばろう」とお互いのきずなを深める4町の男女共同参画社会の実現を目指すメンバーたち

特集 広域で男女共同参画

自分が輝く 地域も輝く

日南・日野・江府・溝口町の4町合同で男女共同参画連絡会を設立

日野郡4町（日南・日野・江府・溝口）の広域で、男女共同参画社会の実現を目指そうと、2月22日、日野郡男女共同参画連絡会の設立総会が、町農業構造改善センターで開かれました。

県内でも初めて
広域で取り組む

広域で男女共同参画社会の実現を目指そうと、2月22日、日野郡男女共同参画連絡会設立総会が、町農業構造改善センターで開かれました。

連絡会は、日野郡内における男女共同参画社会の実現を目指し、各種団体、県、町等が協力し合い、明るい地域づくりや人権尊重の社会づくりの普及活動をしようと設立されました。

この日は、設立総会に合わせ、記念講演や片山知事と船橋邦子さんとの座談会、郡内で活動している各種団体の活動を紹介したパネル展示、県



設立総会で今後の活動内容などを話し合う



レディース日南
会長 山田玲子さん（日南町）

「日」る学習する機会が少ないので、意見や情報を交換できるということは、とてもすばらしいことだと思えます。気軽に話し合え、お互いに学べる有意義な連絡会になってほしいです。

連絡会は、男女共同参画施策のさまざまな情報を交換し、相互の連帯を強化。広域的な男女共同参画社会の実現に向けて、普及啓発活動（広報紙の発行など）を推進していき

情報交換をして 広域に活動します

男女共同参画センター「よりん彩」による移動相談、情報資料室などの一日移動センターも開かれ、町内外から約170人が会場を訪れにぎわいました。

町の枠を越え、広域で男女共同参画を推進する連絡会は、県内でも初めての取り組みで、今後に期待されます。

連絡会は、地域づくり・人権尊重の社会づくりを目指す各種団体を中心に、日野郡4町の男女共同参画関係課、鳥取県日野総合事務所、鳥取西部農協、日野郡広域商工協議会で構成。日野総合事務所県民局に事務局が置かれます。設立総会で、会長には佐々木周子さん（日野町）、副会長には山田玲子さん（日南町）に決めました。

ます。また、研修会や住民の皆さんに広く参加してもらおうと講演会も開く予定にしています。

メンバーは どのような団体が

連絡会は、地域づくり・人権尊重の社会づくりを目指す各種団体を中心に、日野郡4町の男女共同参画関係課、鳥取県日野総合事務所、鳥取西部農協、日野郡広域商工協議会で構成。日野総合事務所県民局に事務局が置かれます。設立総会で、会長には佐々木周子さん（日野町）、副会長には山田玲子さん（日南町）に決めました。



当日の設立総会も自分たちの手で準備

1年という長い時間をかけ

じつくり時間をかけ自分たちの手作りで

男女共同参画推進への活動は、各町でそれぞれ取り組んでいます。一昨年の10月、日野総合事務所が呼びかけ、郡内の取り組みを話し合う意見交換会が開かれました。

これを機に、昨年1月には、県男女共同参画センター「よりん彩」を訪問し、合同研修会を開くなど郡内の連携が図られてきました。また、その翌月には連絡協議会が開かれ、情報の共有化とお互い連帯を強め、広域で考えていこうとこの連絡会の立ち上げが提案されました。

「連絡会は手作りで内容のあるものに」と、数回にわたり打合せ会（各種団体・行政が参加）が開かれ、活動目的や事業内容などを話し合い、設立の準備がされてきました。

の平等なパートナーシップで築き上げる調和の取れた社会のことです。

男性優遇が全体の75パーセント

内閣府が、昨年の7月に「男女共同参画社会に関する世論調査」を実施。社会全体における男女の地位は平等になつていてと思うか聞いたところ、男性が優遇されている」とする人の割合が75パーセントで「平等」と答えた人は19.5パーセント。「女性の方が優遇されている」とする人が2.8パーセントとなり、依然として男性優位の社会であるという実態が分かりました。



日野町男女共同参画推進会議
会長 佐々木周子さん（日野町）

男女共同参画社会の実現に向け、視野を広げて考えていかなければなりません。各町や周辺地域の推進活動がより活発になり、1人でも多くの女性の自信につながればと思います。

男女共同 参画社会とは

男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参加する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を受けることができ、共に責任を担うべき社会」で、お互いが支え合い、女性と男性

内閣府が、昨年の7月に「男女共同参画社会に関する世論調査」を実施。社会全体における男女の地位は平等になつていてと思うか聞いたところ、男性が優遇されている」とする人の割合が75パーセントで「平等」と答えた人は19.5パーセント。「女性の方が優遇されている」とする人が2.8パーセントとなり、依然として男性優位の社会であるという実態が分かりました。



それぞれの 取り組み状況

日野郡4町もそれぞれが、男女共同参画社会の推進を指し活動をしています。

日南町では、昨年末、27人



プラン策定に向け委員会を発足（日南町）

の委員で構成される「男女共同参画プラン策定委員会」を発足し、計画策定に向けて取り組んでいます。また、レディース日南などの団体もそれぞれ独自に研修会などを開き、活発的な意見交換を通して、男女共同参画社会への理解を深めています。

日野町では、町男女共同参画推進会議ら男女共同参画社会を目指す有志で活動しています。

男女が共に自立していきこうと「日野町女性の集い」や講演会、映画会など計画から実施まで手作りで啓発活動に取り組んでいます。また、推進会議員の知識や交流を深めようと県内外の研修会などに積



ACTこうふ
会長 川端一美さん（江府町）

単町での取り組みには、限界やマンネリ化してしまうこともあり、広域的な連絡会ができればと思っていました。皆さんと一緒に取り組み、日野郡から情報発信をしていきたいです。



日野町では住民総参加で意識の向上を図る

極的に参加しています。

江府町では、ACTこうふ、江府町フオワード・女性・倶楽部、江府町食生活改善推進協議会が中心となり活動しています。中でもACTこうふは、平成13年から駅の清掃活動を始め、その輪を住民に広げたり、昨年7月には「ざつ



町の問題について考える（江府町）

他町の取り組み状況や姿勢、組織づくりなど多くのことを学べるので、とても刺激になります。これを機に交流の輪を広げ、積極的に活動していきたいです。まずは勉強からです。



日光女性会
会長 伊藤明美さん（溝口町）

くばらんトーク」と題して人權ワークショップを開きました。分科会では、町の問題点を4つにしぼり、活発な意見の交換の場になりました。溝口町では、昨年7月、男女共同参画計画策定委員会を設立しました。委員会は、商

工会や町内企業などの各団体の代表者や、一般公募した12人（男性5人、女性7人）で構成されています。今後は住民意向調査を実施し、その結果をもとにして、平成15年度中に、男女共同参画推進計画を策定する予定にしています。

県は男女共同参画 計画を策定し推進

県では、平成12年12月に「県男女共同参画推進条例」を制定し、翌年には男女共同参画推進の拠点として、県男女共同参画センター（よりん彩）を開設。同年に「県男女共同参画計画」を策定して総合的・計画的な推進を図っています。



お父さんもお母さんも子育て（溝口町）



一人ひとりが

輝ける社会に

一人ひとりが自分らしく輝ける社会を目指し、家庭・地域・職場で男女共同参画を考えていきましょう。

家庭では―

家族みんなが家事、子育て、介護や地域活動に積極的に参画し、喜びも苦勞も分かち合い、家族みんなが生きがいを持ち、個性を大切にしていきたいでしょう。また、家族みんなが家族の一員として責任を持ち、お互いの人権を尊重しましょう。

地域では―

地域に残る固定的な性別観に基づいた古い習慣やしきたりを見直したり、地域団体の役割分担を男女共同型に改め、男女が対等な立場で地域活動の責任を分かち合える地域を目指しましょう。

職場では―

雇用における男女平等を進め、セクシャル・ハラスメント（性的嫌がらせのこと）のない男女の人権が尊重される職場づくりを進めていきましょう。

片山知事と船橋邦子さんの座談会

今までの価値観や 生き方を変えていこう



これからの男女共同参画について語る片山知事と船橋邦子さん

船橋邦子（ふなばしくにこ）さん＝女性の社会参画を求めて長年にわたりNGO活動に携わる。全国各地で男女共同参画の講演活動などしている。著書「ジェンダーがやってきた」など



真剣に話を聞く参加者たち

2月22日、日野郡男女共同参画連絡会設立総会を記念して、片山知事と全国で男女共同参画を推進する講演活動をしている船橋邦子さんの座談会が開かれました。

知事と船橋さんは、鳥取県の男女共同参画推進状況や課題、他県、国の取り組み、DV（ドメスティック・バイオレンス）家庭内で、夫や恋人による女性への暴力）などについて話し合いました。

知事は「まず、みんなが今までの価値観や意識を改革し、身近な地域から再生していきましょう」、船橋さんは「今後、

女性の自立支援センターをどう作っていくかが大きな問題である」と語りました。会場からは「県の管理職に女性が少ない」「少子化にも問題があるのでは」と積極的に意見が出ていました。

まちづくりは

みんなが主役



「個性を大切に」と船橋さん

また、座談会の前には、船橋邦子さんの講演会「まちづくりはみんなが主役 男女共同参画社会を考えよう」も開かれました。

船橋さんは「一人ひとりの人権が尊重され、本音で話し合える社会を目指すには、それぞれが、自分の問題として取り組む姿勢が大切です。これからは、地域の中でネットワークを作り、協力し合いながら、町づくりに参加していきましょう」と話されました。

そば

でまちおこし

町内でも水稲などから転作し、生産されている「そば」。地域の産物を生かし、消費拡大を目標に、さまざまな調理方法、利用方法が研究されています。



「とてもおいしい」12品のそば料理を味わう参加者

地域の産物を生かし 12品のそば会席

地域の産物「そば」を生かそうと、2月12日、そば会席（日野町食生活改善推進協議会主催）が、山村開発センターで開かれ、町内外から約80人が会席に集まりました。そばを家庭料理で消費拡大

を」と呼びかけたところ、即日で定員（80人）を超える申し込みがありました。

会席料理は「そばのり巻き」「そば八宝」「そばサラダ」「そばゼリー」など同会員が思考を凝らした12品の料理が、振舞われました。

参加者は、料理の説明を聞いた後、調理方法が書かれた用紙を見ながら味わっていました。

遠藤住枝さん（日吉津村）は「栄養バランスの良い料理ばかりですばらしい。さつそく調理方法を学んで作ってみます。ゼリーがおいしかったです」と話していました。

町食生活改善推進協議会（佐々木高子会長）は、町内で採れた食材を使い、食生活



町食生活改善推進協議会会長
佐々木高子さん（舟場）

今回は地元で取れたそばを使った栄養バランスの良い料理を作りました。今後の活動にそば料理を加え、各家庭に紹介していきたいです。これからも地元で採れた食材を使い、地産地消とともに地域の健康づくりを推進していきたいです。



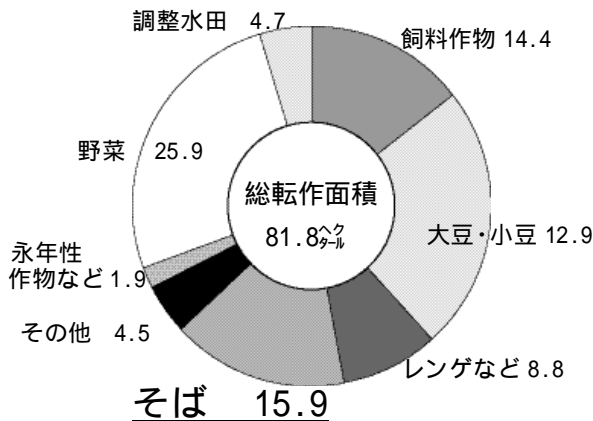
思考を凝らしそば料理を調理する会員ら

町内では13ヘクタールで そばを栽培

町内のそば栽培面積は、平成12年が1ヘクタールで主に自家消費用として栽培されてきました。しかし、同年に鳥取県西部地震が発生し、農業用水路に大きな被害を与えたため、田んぼに水がひけなくなった転作田を利用してそばが栽培されるようになりました。

下榎、安原の農家では、転作組合（石田幹暢組合長）が作られ、県の助成で集団転作に踏み切り、15ヘクタールの土地を利

平成 14 年町転作物割合内訳 (単位:%)



下榎の水田はそばの花でいっぱい(9月ごろ)

用してそばや大豆を栽培するようになりました。
町全体では、平成13年が10%、平成14年には13%とそば栽培が年々増加しています。

日野郡のそば栽培面積 (単位:ha)

| | 平成 12 年 | 平成 13 年 | 平成 14 年 |
|-----|---------|---------|---------|
| 日野町 | 1 | 10 | 13 |
| 日南町 | 7 | 20 | 45 |
| 江府町 | 2 | 10 | 7 |
| 溝口町 | 4 | 7 | 12 |
| 県全体 | 116 | 208 | 206 |

日野郡のそば栽培面積は、平成12年が14%、平成13年が47%、平成14年が77%と年々増加し、県全体の37・4%を占める割合までになりました。郡内では高齢化が進み、手間のあまりかからない(8月に種をまき、10月下旬ごろから収穫、約3か月程度の期間)そばが、転作物として農家に推奨されています。

郡内では77%の面積 県37・4%を占める

収穫されたそばは、町農林振興公社に出荷され、公社から根雨宿二番館(そば道場)「たたらや」や町外の業者、個人などに販売されています。

町農林振興公社事務局長 田口 仁さん(下榎)



転作田を活用した栽培面積拡大や広域的な交流事業からそばを通じて町を活性化させていきたいです。今後は「そば茶」「そば飯」「そばがゆ」など新しい商品を開発して地産地消を進めていきます。地元住民には、そば食の意識を高めてほしいです。



郡内のそば処マップを発行

日野郡産そばの消費拡大を図ろうと、昨年の3月、日野郡そば研究会(竹本勝幸会長、県日野総合事務所農林局農業振興課長)が設立されました。県総合事務所が呼びかけ、県、郡内4町、鳥取西部農協

日野郡広域で そば振興を推進

根雨宿二番館「たたらや」 石田茂雄さん(黒坂)



町内産そば粉と相性の良い地元の水を使うことにこだわっています。いつまでもこだわり続け、多くのお客さんに、そばの魅力を伝えていきたいです。ぜひご来店ください。家庭では、素朴な味が楽しめる「そばがき」をお勧めします。

商工会、食生活改善推進協議会、料飲業生活衛生同業組合など10団体で研究会を設立。食生活改善推進委員を通じて、家庭での普及。観光面から旅館、料理店などでの普及を図ろうと、そば打ち体験、そば料理コンテストなどを開いた

り、郡産そば粉を使った店を紹介する「日野郡のそば処」(そばマップ)を作製し、地産地消と観光面で、そばの消費拡大に取り組んでいます。

豊かな自然が おいしいそばを育む

豊かな自然に恵まれた日野郡は、昼と夜の温度差が大きいことや土地の排水が良いなどの条件を満たしており、おいしいそばの栽培に適していると言えます。

また、そばは、良質のタンパク質やビタミン類(特にビタミンB)を豊富に含み、心臓病予防や食欲不振の解消などにたくさん効果がある食品として注目されています。

全国大会でがんばります

町内小学生5ペアが第2回全国小学生ソフトテニス大会に出場

出場選手にインタビュー

3月30・31日、千葉県白子町で開かれる第2回全国小学生ソフトテニス大会に、県代表として日野町から5ペア（10人）の小学生が出場することになりました。

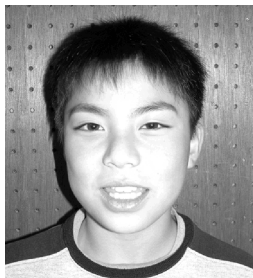
1月25・26日、江府町運動公園体育館で同大会県最終予選会が開かれ、小学5年生の部、小学4年生以下の部の2部門で、黒坂・根雨小学校の児童5ペア（10人）が上位入

賞し、全国大会の出場権を手にしました。
【全国大会出場選手を紹介】
男子
5年生の部 稲田浩明さん（黒坂小5年生）・伊田浩貴さん

ん（黒坂小5年生） 榎原和也さん（黒坂小5年生）・継岩拓斗さん（根雨小4年生）
4年生以下の部 榎原深太さん（黒坂小4年生）・西村賢人さん（黒坂小3年生）
女子
5年生の部 荒木沙紀さん（黒坂小5年生）・木村彩花さん（黒坂小5年生）
4年生以下の部 谷口優佳子さん（黒坂小4年生）・音田夏子さん（根雨小4年生）

稲田・伊田ペア（小学5年生の部）

目標はベスト8。自分の力を出し切って全力で試合に臨みます。



稲田浩明さん（黒小5年）

ベスト8が目標。去年、東京に負けたくやしさをぶつけます。



伊田浩貴さん（黒小5年）

榎原・継岩ペア（小学5年生の部）

決勝トーナメント進出が目標。できるだけボールを取りたいです。



榎原和也さん（黒小5年）

相手は全員上級生。気迫に負けず、多くの試合に勝ちたいです。



継岩拓斗さん（根小4年）

荒木・木村ペア（小学5年生の部）

去年より良い成績を残したい。サーブミスを狙います。



荒木沙紀さん（黒小5年）

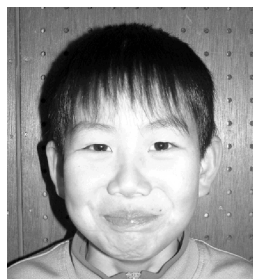
ミスをしないように優勝目指してがんばりたいです。



木村彩花さん（黒小5年）

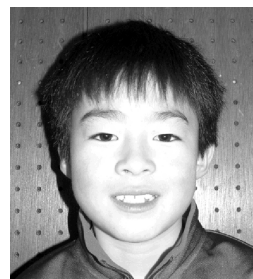
榎原・西村ペア（小学4年生以下の部）

得意のネット際に落とすボールを決めて優勝したいです。



榎原深太さん（黒小4年）

ボレーをいっぱい決めてテニスと試合を楽しみたいです。



西村賢人さん（黒小3年）

谷口・音田ペア（小学4年生以下の部）

ペアと力を合わせて試合に勝ちたい。全国大会楽しみます。



谷口優佳子さん（黒小4年）

目標は優勝。得意の速い球を相手コートに打ち込みたいです。



音田夏子さん（根小4年）

冷水浴びせて厄払い

菅福地区で伝統行事「ほとほと」

その年に厄年を迎えた人の厄を払う伝統行事「ほとほと」が、2月8日、菅福地区で行われまして。



家人から冷水を浴びせられ、急いで退散する「ほとほと」役の若者たち

今年と同地区の3軒の家を訪問。外も暗くなった午後6時半過ぎ、みのとかさをつけた若者が、神様が扉をたたき音「ほとほと」と言いながらわらで作ったしめ縄や馬を入れたかごを届けました。

縁側に用意されたお酒やご祝儀を、若者が代わりに持ち帰るつとすると、家人が勢いよく冷水を浴びせ1年の幸福を願いました。

今年60歳を迎える西村美恵子さん（福長）は「健康で景気の良い年になってほしいです」と話していました。

「ほとほと」は厄年を迎えた人の家に厄よけの品物を持って訪問。お礼の品を受け取って帰る時に厄がつかないように水をかけて、厄払いをする行事で、地域の伝統行事を伝えていこうと、昨年、25年ぶりに復活しました。

復活を呼びかけた西村文作さんは「地域の良き伝統を次代に伝えていきたい」と話していました。



「お疲れ様」冷え切った体を温泉で温める関係者ら

開かれました。

用意された料理や酒を囲み、「良き伝統を掘り起こし、若者に伝えていきたい」「これからは、地域が元気を出して情報発信をしなくては」などと、これからの地域活動や昔話、趣味の話などについて熱心に語り合い、盛り上がりつつありました。

行事が終わって 楽しい懇親会

厄払い行事「ほとほと」が無事終わった後、冷水を浴びせられたほとほと役や関係者たちは、もみじ温泉（日野町福長、安部武男さん所有）に入浴し、冷え切った体を温めました。

その後、厄を迎えた人や地域の人たち関係者ら約40人が参加し、同会場で、慰労会が

会社フレクシオンフリューム福長工場の建設地で、ボーリング中にゆう出しました。

三朝温泉などと同質の単純放射能温泉で、約30度の温泉が、1日86℃わき出ています。泉質は、弱アルカリ泉でラジウムの含有量は三朝温泉の25倍もあり、神経痛や関節痛、冷え症、健康増進などに効能があります。

温泉は、同会社員の保養や近所の人たちに利用されたりしています。

美しい歌声や演奏を披露

日野高校として初めての定期演奏会

日ごろの学習成果を発表しようとして、2月1日、日野高校（小谷章公校長）の第1回定期演奏会が、町文化センターで開かれました。この日は、同高校の一年生全員が応援に駆けつけるなど、会場は訪れた人でいっぱいになりました。



出演者全員で「ハレルヤ」を合唱。総勢110人の歌声が会場を包み込む



1部の合唱で澄み切った歌声を披露

演奏会は4部で構成され、音楽系列の生徒ら約60人が出演。また、米子混声合唱団、コーラスグループおしどりたち、米子南高合唱部、日野中学校吹奏楽部にも参加し、華を添えました。

1部は合唱で、「のぼら」「いっつも何度でも」など透き通った歌声を披露しました。

2部は、ピアノやバイオリンなどのソロ演奏、3部は弦楽合奏を披露しました。

最後の4部では、出演者全員で「ハレルヤ」を合唱。美しいハーモニーが、会場全体を包み込み、訪れた人々の心を感動させていました。



息の合った弦楽合奏



ソロ演奏の美しい音色に会場はうっとり

昨年までは、音楽教養コース（音楽を専門に学習）の生徒により根雨高等学校定期演奏会として開かれていました。今年の4月、学校再編により音楽教養コースはなくなりましたが、総合学科の音楽系列を選択している生徒たちが、演奏会を引き継ぎ、日野高校

定期演奏会」として、新たにスタートさせました。

音楽系列とは

音楽系列は、音楽に関する基礎・基本的な知識や技術を実践・体験的に学習し、豊かな感性、鑑賞能力などを育てる総合学科のひとつです。

将来の地域文化活動の担い手となる人材育成を目指し、合奏や合唱、器楽などの科目があります。

ピアノやバイオリン、声楽など自分で選択した各専門に分かれて個人レッスンを受けます。また、年数回、大学教授を招く集中講義もあります。専用の練習室も8室完備されており、すばらしい環境が整備されています。

ふるさとが活気ある

まちになるように

大阪市内で関西地区在住者懇談会「ひの郷会」総会

日野町出身者の方など関西地区在住者で、構成されている「ひの郷会」(岩本次郎代表世話人)の総会が、1月25日、大阪市内で開かれました。

総会は、会員35人のほかに、町から中山間地域活性化推進員、町職員など関係者7人が出席しました。

ひの郷会を代表して岩本さんが「私たちのふるさとが、活気ある町になるように発展してほしい」とあいさつ。今年度の事業や決算の報告や来年度の計画などについて熱心



町の活性化を目指し、熱心に話し合う



岩本代表世話人

に話し合われました。

また、農産物加工施設の活用方法やそばの振興対策、男女の出会いの場を提供する「恋愛山河」(出あいふれあい・ひの山田利美会長)についても活発な意見が出ていました。

引き続き開かれた懇談会では、料理を囲みながら町の活性化対策やふるさとの話題に話しが弾み和やかな総会となりました。

ひの郷会は、日野町と関西地区に住む日野町出身者とのパイプ役として平成4年に発足。大阪府、兵庫県を中心に約90人の会員で構成されています。町の情報を提供したり、特産物を詰めた「ふるさと便」の斡旋、懇談会などを開き交流を深めています。

福祉関係専門員奨学金制度のお知らせ

町では、平成15年度から福祉関係の資格を取得しようとする人に、奨学金の貸与制度を設けます。

貸付対象者

高校卒業程度の学力を有し、福祉関係専門員の資格を取得しようとする人で、町内在住者又は出身者の人。

福祉関係専門員とは

介護福祉士、保健師、看護師、保育士、栄養士、管理栄養士、社会福祉士、その他町長が認める専門員です。

貸付内容

- 貸付額 月額 100,000円(年間1,200,000円)
- 貸付期間 最高4年間
- 返済期間 貸付終了後12年(半年月賦元金均等償還)
- 貸付人員 年間2人程度
- 返済免除 資格取得後、返済期間内に町内の事業所に継続して6年以上勤務した人は、7年目以降の返済を免除します。

奨学金の決定

筆記試験及び口述試験をして決定します。

その他

この制度の貸付募集は、平成15年度から平成19年度の5年間です。

受付期間

平成15年度の募集は3月20日(木)まで(申請書は役場健康福祉課にあります)

問合せ先 役場 健康福祉課 山形(電話 72 - 0334)



ボランティアセンターから ごんごちは

高齢者誕生月プレゼント企画 来年度も継続

昨年4月から高齢者の見守りとボランティア育成を目的に行なっている「高齢者誕生月プレゼント企画」も、いよいよ一年が過ぎようとしています。

| | 内容 | ご協力いただいた方 |
|-----|-------|--------------|
| 4月 | ぼたもち | 萌会 |
| 5月 | 赤飯 | 町食生活改善推進協議会 |
| 6月 | 笹巻き | 黒坂明るい食生活 |
| 7月 | 写真入れ | 根雨2区老人クラブ女性会 |
| 8月 | クッキー | おしどり作業所 |
| 9月 | 月見だんご | 奥渡り子ども会 |
| 10月 | 動物組み木 | 木のおもちゃづくり |
| 11月 | 花 | 生田 清子さん |
| 12月 | もち | 久住寿来の会 |
| 1月 | 赤飯 | 菅福元気邑 |
| 2月 | 大山おこわ | 有志の皆さん |

お世話になりました
今年度のプレゼント

ただきました。訪問先では「思わぬプレゼントと訪問に涙が出るほどうれしかった」「忘れていた自分の誕生日を思い出させてもらった」などととても喜んでもらえ、毎月参加した子どもたちにも貴重な体験になりました。

日野ボランティア・ネットワークでは、来年度も継続してこの活動をしていきます。参加、協力をよろしく願います。

歴史民俗資料の整理 ボランティア募集

センターでは、歴史民俗資料の分類整理、清掃作業に参加していただくボランティアを継続して募集しています。

申し込み・問合せ先 町ボランティアセンター（電話740117）又は町教育委員会（電話722107）

1月 ボランティア活動状況

依頼件数 9件
活動件数 11件
活動人数 78人（町外13人）
雨どい修理 雪かき 部屋の片付け 歴史民俗資料館の整理



たくさんの民具を整理するボランティア

参加者 募集

3月
高齢者誕生
プレゼント企画

3月8日（土）

集合時間 10時
場所 ボランティアセンター
中国風菓子（マラーカオ）

広報ひの 県広報コンクールで1席

行政広報の充実、向上を目指すそうと、1月16日、平成14年県広報コンクールが開かれ、「広報ひの」が、広報紙町村2部（人口1万人未満）で1席（特選の次の賞、特選は河原町）、広報写真の部で佳作となりました。

1席になった広報紙は、平成14年7月号で「日野高校をもっと知ろう」「ワクワク日野」などを特集。写真の部は、同7月号表紙「水中自然観察会」の写真が佳作になりました。



表紙の写真が写真の部で佳作

広報紙町村2部で1席に入選した
「広報ひの7月号」

映画のご案内

文化センター

3/9 山の郵便配達
(日)

とき 3月9日(日)
13時30分～
チケット 500円

春休み映画会

チケット料金(下記映画の料金です)

| | 前売り | 当日 |
|-------|--------|--------|
| 一般 | 1,300円 | 1,800円 |
| 中学生以下 | 800円 | 1,000円 |
| 親子ペア | 2,000円 | 2,800円 |

主催 サティ東宝
問合せ先 町文化センター

ワンピース デッドエンドの冒険

とき 3月30日(日)
2回上映 10時30分～
13時30分～

ドラえもん のび太とふしぎ風使い

とき 4月5日(土)
2回上映 10時30分～
13時30分～

図書館・ホール森の音楽隊



文化センターだより

TEL 72-1300 FAX 72-1320
E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp



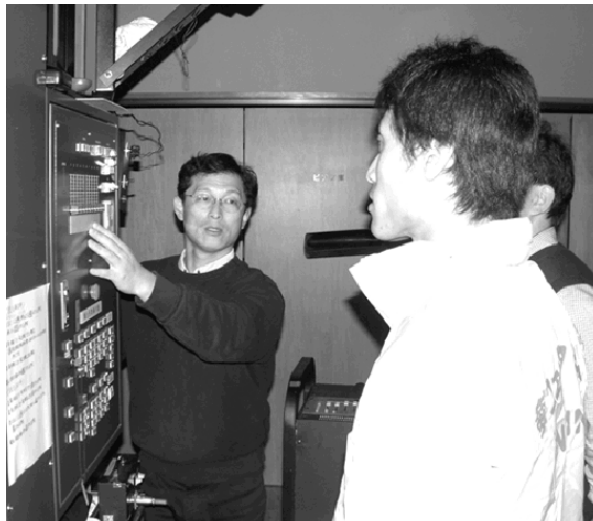
3/19
20
(水)
(木)

舞台技術ボランティア 講座にどうぞ

境港市文化福祉財団の角本豊さんを講師に迎え

コンサートや演劇、ミュージカルを盛り上げる音響、照明、舞台演出などに興味のある方を対象にボランティア講座を開きます。初めての方にも分かりやすい講座です。どうぞ多数

ご参加ください。



舞台操作装置の説明を聞く参加者(前回の様子)

とき 3月19日(水)・20日(木)
19時～21時

ところ 町文化センター

講師 角本豊さん(境港市文化福祉財団職員)

申し込み・問合せ先 町文化センター



布絵本づくりに励むボランティア



舞台が華やかになるよう花を飾る



町内保育所で絵本を読み聞かせる

ボランティア活動紹介

文化センターでは、いろいろなボランティアが活躍しています。一緒にやりませんか。

インターネットで蔵書検索をどうぞ <http://ascpcenter.infosakyu.ne.jp/ilis/hino/top.htm>

図書館カレンダー 3月

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 2 | 3 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 9 | 10 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 16 | 17 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 23 | 24 | 31 | | | | |
| 30 | | | | | | |

印が休館日です

図書館友の会
3月13日(木) 19時30分
春の図書館まつり打ち合わせ
会など。どなたでも参加でき
ます。

木のおもちづくり
3月9日(日) 10時
おひなさまの組み木など

図書館おはなし会
3月23日(日)
おはなしブリュッケン(松江市)
14時～ 小さい子ども
15時～ 小学校高学年から一般

3月の展示コーナー



日野川の
オシドリたち
オシドリに関する
本や資料などを展示

2/22(土)～3/30(日)

みんなの
ひろば
まちの話題

話題があいたら
企画授業まで
TEL 72-0332

盤上で熱戦が繰り広げられる

恒例の新春囲碁大会

囲碁を通して親睦を図ろう
と、2月2日、第26回町新春
囲碁大会が、山村開発セン
ターで開かれました。
大会には、町内外から18人



集中しながら碁を指す参加者たち

優勝〓小谷豊さん(下
榎) 2位〓遠藤均さ
ん(榎市) 3位〓前
田英昭さん(舟場)、西
村正満さん(下榎)、生
田正剛さん(下黒坂)、
池岡勇治さん(黒坂)、
若林勲さん(根雨)
B組
優勝〓吾郷奨さん(根
雨) 2位〓森吉紀久
夫さん(根雨)、3位〓
大元強さん(米子市)

白銀の世界を
楽しむ

町スキー

スノーボード教室

冬のスポーツに親しんでも
らおうと、2月9日、町ス
キー・スノーボード教室を、
奥大山スキー場(江府町)で
開きました。

子どもから大人までの22人
が参加。白銀クラブ員(佐々
木幸人会長)の指導を受けな
がら、スキーやスノーボード
を楽しみました。

始めは滑れなかつた子ども
たちも帰るころには滑れるよ
うになり、思いどおりのシユ
ブルを描いていました。
参加者は「楽しかった。ま
たスキー場に来たい」などと
話していました。



白銀クラブ員に指導を受ける子どもたち

山菜フルコースを楽しむ

町公民館で自然を味わう「山菜を楽しむ会」



「とてもおいしいね」山菜を味わう参加者

町内で採れた山菜を味わっ
てもらおうと、2月11日、山
菜を楽しむ会が、町公民館で
開かれました。

この日は、町内外から30人
が参加。料理は、くわいのか
ら揚げなどの前菜、わらびや
ぜんまいの煮物、ふきのとう
の天ぷらなど約13品の山菜フ
ルコースで、町内で採れたも
のをふんだんに使い、萌会
(恩田記子代表)の会員らが
思考を凝らし調理しました。
恩田さんは「心ゆくまで自
然を味わってください」と各
テーブルを回りながら食材や



各テーブルは、山菜の話で盛り上がる

調理方法などについ
て、ていねいに説明
していました。
この日の楽しみに
していた参加者は
「とても香りが良く
おいしい」「たくさん
の山菜があつてうれ
しい」などと言いな
がら山菜料理を味
わっていました。
藤原雅子さん(江
府町)は「私も山菜
が好きで採りに行き
ます。この味はお金では買え
ないすばらしいものです。特
にわさびの酢の物がおいしい
です」と話していました。

大切なのは 早めの対策

イノシシシンポジウム

イノシシ被害から農村生活を守るうと、2月16日、イノシシシンポジウムが、町文化センターで開かれ、約150人が参加しました。

畜産試験場職員、猟友会、被害に悩む地区代表者ら5人のパネラーが、イノシシの生態や防護策、被害状況について、「大切なのは、被害に遭う前に十分な対策をしておくこと」などと発表しました。

会場からは「助成金を増やしてほしい」「積雪地域での新対策を考えてほしい」などと多くの意見がでていました。



それぞれの立場からイノシシ対策を発表



心地よい汗を流し卓球を楽しむ参加者

ハッスルプレーで 盛り上がる

町夜間リーグ卓球大会

卓球を通して親睦を図ろうと、第9回町夜間リーグ卓球大会が、1月24日から2月7日の間、日野中学校体育館で開かれました。

自治会や職場などから12チーム（約100人）が参加し、熱戦が繰り広げられました。

大会は、ハッスルプレーが続出するなど盛り上がり、参加者は、心地よい汗を流していました。

大会結果は次のとおりです。
優勝〓下榎チーム 2位〓野田B 3位〓野田A

21世紀のまちづくりを考えよう

町生涯学習まちづくり大会



町内で活動する団体を代表して3人が事例を発表

ることを探すが、町の元気につながる」と活動の中で感じたことを話しました。

その後、テレビキャスターとして活躍中の露木茂さんを迎え「良く学び、良く遊び続ける」と題して講演を聞きました。

露木さんは「いつまでも興味を持って学ぶ気持ちが大変。人との出会いや輪が広がります。積極的に行動していきましょう」と話されました。大会に参加した約170人は、実践発表や講演に耳を傾け、これからのまちづくりに関して考えました。



何かを感じ行動することが大切と露木さん

どうぞご利用ください

| 体育施設名 | 利用可能なスポーツ |
|------------|------------|
| 根雨社会体育館 | バレーボール・卓球 |
| 黒坂社会体育館 | 剣道・フットサルなど |
| 菅福社会体育館 | カヌー |
| せせらぎの水辺休憩所 | カヌー |
| 野田町民テニスコート | ソフトテニス |
| 黒坂町民テニスコート | 硬式テニス |

体育施設を利用して健康な体づくり

町内には気軽に利用できる体育施設がたくさんあります。体を動かして健康な体づくりをしましょう。施設の利用を希望される場合は、教育委員会（電話722107）又は町公民館（74 0212）まで事前に申し込みください。

詳しくは、教育委員会事務局までお問合わせください。

教育委員会 川上

経と鈴の音が響きわたる



1年の幸福を祈って経を読み上げる僧りよたち

町仏教会が寒中たく鉢

冬の風物詩ともなっている町仏教会（八谷宜道会長、10か寺）の寒中たく鉢が、2月8日・11日の2日間、黒坂・根雨地区で行われ、僧りよの読経と鈴の音が地区内に響きわたりました。

網代がさと黒の衣も身にまとった僧りよや子どもたちが、手した鈴を「チリン、チリン」と鳴らし、般若心経を唱えながら家を回りました。

たく鉢に参加した泉龍寺（黒坂、三島道秀住職）の三島秀典さん（黒坂小5年）は「保育園のころからお手伝いをしています。ポランティアができてうれしいです。これからも続けていきたいです」と話していました。

たく鉢は、町仏教会が修業と社会福祉活動の一つとして、昭和11年から毎年行われています。寄せられた浄財は、町内の小中学校やポランティア団体などに寄付されることになっています。

わたしの町

1月末日現在

(前月比)

| | |
|-----|-------------|
| 人口 | 4,500人 (-6) |
| 男性 | 2,126人 (-4) |
| 女性 | 2,374人 (-2) |
| 世帯数 | 1,578戸 (-3) |

オシドリニュース

「あと1か月」

北帰行まで1か月となりました。春の訪れと共に北へ渡って行く鳥たちのたくましさには感動させられます。皆様のオシドリ応援、本当にありがとうございます。今シーズンの見納めにぜひお出かけください。案内ポランティアも詰めていますよ。ひよつとして1万人目のお客様は、あなたかもしれません。連絡先オシドリグループ 事務局 森田 (72 0271)



「ただ今、チューチュー中！」
撮影 香西伸彦さん(岡山市)



緊急時を想定して購入した水袋

このほど町は、緊急時に備え、使い捨ての非常用飲料水袋(5袋用)を5千枚購入しました。この袋は、県の助成を受け購入したもので、災害や断水などの緊急時に飲料水専用の容器として使われます。

1月中届出分

おくやみ (敬称略)

ご冥福をお祈りします

(氏名) (年齢) (住所)

松本 忠子 85歳 門谷

西村 幸夫 70歳 根雨

編集後記

昨年の「広報ひの7月号」が県広報コンクールで1席(特選)の次の賞になりました。日ごろから取材にご協力をいただき心から感謝しています。皆さんのすてきな笑顔と日ごろのがんばりが、賞に選ばれたのだと思います。これからも皆さんの笑顔を全力で追いかけます。「ぜひ私に取材を」と言われる方は、ご一報ください。